

 **会報ビーチing**

第46号

NPO法人白神ネイチャー協会ブナ植樹開催される

平成25年10月6日（日）あきた白神体験センターを会場に、山本優人副会長の司会で開会式を行いました。はじめに日沼正清会長が歓迎の挨拶と来賓



の紹介をしました。「1993年に白神山が世界遺産に登録され今年で20周年にあたります。当協会は2000年に設立しました。今年で13年目になり、植樹したブナ、ナラその他を含む本数は、1万本を超え、4000人以上の方達から植樹をしていただきました。近年は、富士山などの世界遺産登録があり、かつての賑わいはありませんが、植樹には関心があり、森づくりの重要性を実感しています。これからは、少子高齢化が進み、協会の減

少など資金面でも立ち行かなくなるのではと心配しております。本年度よりブナの里親制度を開始しましたので、資金面でも皆様のご協力をお願いします。」と話しました。

次に、加藤和夫八峰町長よりご挨拶を頂きました。「白神山世界遺産20周年記念の年の植樹に多数の方にご参加いただきありがとうございます。遠くは福岡からのご参加、遠路八峰町に来ていただき感謝申し上げます。2000年に始まったブナの植樹ですが、会長さんが言った通り今まで6,000本、各種団体を指導しながら5,000本、合わせて11,000本余りを植樹しています。そして隣の海と川と空の塾では、12,000本を植樹しており八峰町全体で23,000本植樹しております。これもひとえに、ボランティアで参加してくださっている皆





様、主催するネイチャー協会の努力のお蔭だと思っています。それから、今日のニュースで日本ジカの話がありました。核心地域まで約8 km付近にまで迫って来ている、ふつうであれば20 km圏外に生息しているのに、動植物の生態系が心配されている、環境庁や林野庁と協力体制のもと対応していきたい。また、新聞では今年は熊の目撃情報が例年の半分だそうです。森にはブナやどんぐりやくるみなどが豊

作で里まで下りてこなくてもいい状態なのではないか？ブナの実が種から苗に育って行って80年すれば実を付ける、100年を超えれば急成長していく、100年後を見据えて自然を楽しみ、楽しくけがのないように植樹をして下さい」と話しました。

次に奥羽屋米代西部森林管理署長よりご挨拶をいただきました。「われわれ森林管理局は、井川町の国有林、地元能代山本国有林の管理をしています。主に杉の苗を植え付けたり、広葉樹を残しながら植え付けたりしています。ブナを直接植えることはないので、今日は楽しみにしてまいりました。私ども苗を植え付けることは慣れておりますので任せてください。あと、お願いがあります。今日自分が植えた苗が1年後、2年後では育っていくのはわからないと思いますので、3年後、5年後たったら見に来てほしい、特に小学生の人達は中学生になったらぜひ見に来てもらいたい。苗の成長がみられるはずですよ。」と話しました。



次は、毎年恒例となりました会員の鈴木和人さんによる、小道具を使った苗の植え方です。今回は趣向を変え、特に重点的に苗の向きの説明を行いました。曲がっている苗の場合は、斜面の下の方に曲がったのを向けて植えて下さい。上の方に向けると雪が降った場合折れるおそれがあるので、下に向けて植えるようにという内容を中心とした分かりやすい説明でした。(いつもありがとうございます!)





開会式終了後、バス7台に分乗し、植栽地へ出発しました。駐車場を通り越してしまうという、やっ迫はいけなハプニングにも合い、来年への反省点となりました。

植栽地到着後、各号車に分かれての植樹作業となりました。今年一人ブナ2本、ナラかトチ各1本、計3本の割り当てでした。

作業終了後の昼食は、昨年同様、現地でとりました。ひより会提供によるつみれ汁をおいしくいただきました。

閉会式は、工藤兼美副会長の司会で行い、会長が御礼の言葉を述べたあと、参加者を代表してANAの社員の方三名に感想を述べていただきました。遠藤さんは「先輩たちの植えたブナを見てこんなに育つのかと思い、来年も再来年も参加したいです!」と述べ、森金さんは「今回後輩の二人を連れてきました。こういった事を行っているのが知らなくて、会社に持ち帰ってみんな



に広げていけたらいいな!」と述べ、三人目の田中さんは、「植樹は初めての経験でしたが、先輩に誘っていただいて参加しました。今回、大自然に囲まれて子供たちや地元の皆さんと一緒に植樹できた事が楽しかったので、来年も参加したいと思いました。」と述べて頂きました。

その後、留山行きとあきた白神体験センター行きに分かれ、ナメトコを後にしました。

みなさん、お疲れ様でした!



編集後記

今年は天気も良くトラブルもなく、と思ったら、ひより会さんのほうで、ガスボンベとコンロは持っていきましたが、かんじんの調整器がなく、煮炊きできないと電話があり、急ぎよ私が持ち参じました。間に合ってよかったです。準備するときは、もう一度点検をお願いします。

いつも苗を準備する方々には感謝申し上げます。

広報担当 越前谷

おまけのピーキング

2013年もあと一か所と少しはなりました。今年もあ〜っという間の一年でした！
今年、自神川地が世界遺産登録20周年、秋田DCとすれ違ったのかと、思ったら。。「あれ？いつもの年と変わらない？」という一年でした。(反対に、自分の事でバタバタとすれ違った一年でした。)



冬囲い作業

11月9日(土) 冬囲い作業を行いました。ふれあい館周辺・ブナの苗木の冬囲い作業を会員8名で行いました。

当日は、お天気も良く、昨年、二日かかった作業も、一日で終わりました。協力してくれた会員のみなさんには感謝です！

さて、、、今年の雪は??どんなあんないのでしょうか?

11月14日撮影

ブナの種植え付け作業

11月14日(木) ブナの種植え付け作業を行いました。町内では不作でしたが、周辺地域で豊作なところがあり、約4,000粒を会員7名と事務局2名、計9名で行いました。

いくつ芽が出てくるのか、、、来年の春が楽しみです！



ネズミの侵入を防ぐためのネットを張っています。

八峰町関東ふるさと会

11月17日(日) 第5回八峰町関東ふるさと会総会がアルカディア市ヶ谷(東京都)で開催され、山本優人副会長が出席し、ふるさと会の会員の皆さんに「ブナ苗の里親制度」について説明しました。“たくさんの申し込みがあるといいなっ!”

2013 植樹参加記念品 ～オリジナルタンブラー～

植樹に参加してくれた会員の皆さんで、参加記念品を受け取っていない方はいませんか??「そういえば、まだ!」の会員の方は、お手数ですが事務局までご連絡をお願いします。

